

年 月 日

研究対象施設名

施設長 殿

ご協力のお願い

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、現在聖路加国際大学大学院に在籍し、被災地で支援活動を行う支援者や専門職の方々へのサポートについて研究しております。この度、「東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化－アクションリサーチを用いて－」を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

本研究は、貴施設に所属する専門職の方と研究者が支援活動や必要なサポートについて共に考え、話し合う機会を作り、その取り組みに対する専門職の方の感想や反応を記述し、被災地で活動する支援者へのサポートの示唆を得ることを目的としています。本研究によって、災害後の被災住民への長期的なこころのケアモデルとその有用性を提示すると同時に、災害後に支援活動を行う専門職がメンタルヘルスを保持しながら活動するための支援体制の整備に向けた基礎資料になると考えております。

研究にご協力いただく方は、貴施設にご所属され、被災住民への支援活動をされている専門職の方です。皆様にお集まりいただき、支援活動のストレングスに焦点を当てたグループディスカッションおよびグループディスカッション内容のフィードバックの計 2 回のグループディスカッションに参加していただきます。グループディスカッションでは、最近の支援活動や支援活動の強みについてお伺いいたします。グループディスカッション内容のフィードバックでは、研究者がグループディスカッションの内容をまとめ、参加された方へフィードバックを行い、内容についてのご意見を伺います。なお、これらにおいて話し合われた内容は、IC レコーダーで録音いたします。また、以前のグループインタビューに参加された方についてはこれまでに行った、または今後行う、ディスカッションの場以外で皆様と本研究に関連する話し合いの内容についても記録し、分析の対象といたします。なお、お話しいただいた内容は、個人および所属施設が特定されないように匿名化したうえで使用させていただきます。

研究協力にご理解いただけましたら、貴施設の皆様に「ご協力のお願い」の配布をお願いいたします。また、貴施設の専門職の皆様に、本研究の説明をさせていただく機会をいただき、ご都合のよい日時をお知らせいただけますようお願い申し上げます。

調査は平成 30 年 1 月～6 月に実施の予定です。なお本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等を遵守し、人権擁護に配慮いたします。また、下記の倫理的配慮を行います。

(倫理的配慮)

- ① 研究への参加は、協力の同意が得られた方といたします。参加されるか否かは全くの自由です。
- ② 研究の参加は、途中でも自由にとりやめることができます。
- ③ グループディスカッション等において話し合われる内容は、同意を得たうえで録音します。話し合いの内容や研究への参加における個人の情報は特定されないように、匿名性と内容の秘匿に十分に配慮します。
- ④ 研究に参加する方は、グループディスカッション等で話し合われた内容および関連する個人情報研究実施中のみ共有し、研究実施外において研究中に話し合われた内容や参加者の個人情報について開示はいたしません。
- ⑤ データは、研究者のみが扱える場所に保管し、他者が触れることはありません。
- ⑥ 研究への参加には、1 回につき 2 時間程度の拘束時間となりますが、いつでも中断、中止することができます。
- ⑦ 研究に参加し、話し合うことでの心理的なご負担が最小限になるよう十分に配慮いたします。
- ⑧ 研究参加者の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料の書面を、下記メールアドレスに連絡することにより入手または閲覧することができます。
- ⑨ 研究参加者等及びその関係者は、下記メールアドレスに連絡することにより本研究に関する相談等を研究者に行うことができます。
- ⑩ 研究終了5年後には一切のデータを復元不可能な状態に消去し、紙面に記載したものはシュレッダーによる断裁などの方法で処分します。
- ⑪ 本調査結果につきましては、研究者の論文執筆および専門誌投稿、学会発表を行う予定です。
- ⑫ 調査結果は、本研究以外の目的では使用いたしません。
- ⑬ 本研究は、聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施します。
(聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号:XX-XXX)

なお、本研究は三菱財団社会福祉事業・研究助成金「放射線被害に取り組む福島県の行政機関等のスタッフに関する長期的サポートプログラムの作成」(研究代表者 萱間真美)を得て実施されます。

以上の内容につきましてご理解いただき、研究にご協力いただけますようお願い申し上げます。

研究責任者:大橋明子

所属:聖路加国際大学大学院 博士後期課程

住所:東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

E-mail:a-ohashi@slcn.ac.jp

Tel:03-3543-6391(大学代表)

指導教員:聖路加国際大学大学院 研究科長・精神看護学教授 萱間真美

聖路加国際大学
学長 福井 次矢 殿

研究への参加・協力の同意書

私は「東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化－アクションリサーチを用いて－」の研究協力を行うにあたり、研究者から説明文書を用いて説明を受け、これを十分理解しましたので、当施設に所属するものがこの研究に参加、協力することに同意いたします。

日付： 年 月 日

研究対象施設責任者氏名(ご署名)： _____

同意確認者氏名(署名)： _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号：XX-XXX

年 月 日

研究対象施設名

研究対象者名 様

ご協力をお願い

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、現在聖路加国際大学大学院に在籍し、被災地で支援活動を行う支援者や専門職の方々へのサポートについて研究しております。この度、「東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化－アクションリサーチを用いて－」を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

本研究は、みなさまと研究者が支援活動や必要なサポートについて共に考え、話し合う機会を作り、その取り組みに対する専門職の方の感想や反応を記述し、被災地で活動する支援者へのサポートの示唆を得ることを目的としています。本研究によって、災害後の被災住民への長期的なこころのケアモデルとその有用性を提示すると同時に、災害後に支援活動を行う専門職がメンタルヘルスを保持しながら活動するための支援体制の整備に向けた基礎資料になると考えております。

本研究では、被災住民への支援活動をされている専門職の方にお集まりいただき、支援活動のストレングスに焦点を当てたグループディスカッションおよびグループディスカッション内容のフィードバックの計2回のグループディスカッションに参加していただきます。グループディスカッションでは、最近行っている支援活動や支援活動の強みについて伺いいたします。グループディスカッション内容のフィードバックでは、研究者がグループディスカッションの内容をまとめ、参加された方へフィードバックを行い、内容についてのご意見を伺います。なお、これらにおいて話し合われた内容は、ICレコーダーで録音いたします。また、以前のグループインタビューに参加された方についてはこれまでに行った、または今後行う、ディスカッションの場以外での皆様と本研究に関連する話し合いの内容についても記録し、分析の対象といたします。なお、お話しいただいた内容は、個人が特定されないように匿名化したうえで使用させていただきます。

調査は平成30年1月～6月に実施の予定です。なお本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等を遵守し、人権擁護に配慮いたします。また、下記の倫理的配慮を行います。

(倫理的配慮)

- ① 研究への参加は、協力の同意が得られた方といたします。参加されるか否かは全くの自由です。
- ② 研究の参加は、途中でも自由にとりやめることができます。
- ③ グループディスカッション等において話し合われる内容は、同意を得たうえで録音します。話し合いの内容や研究への参加における個人の情報は特定されないように、匿名性と内容の秘匿に十分に配慮します。
- ④ 研究に参加する方は、グループディスカッション等で話し合われた内容および関連する個人情報研究実施中のみ共有し、研究実施外において研究中に話し合われた内容や参加者の個人情報について開示はいたしません。
- ⑤ データは、研究者のみが扱える場所に保管し、他者が触れることはありません。
- ⑥ 研究への参加には、1 回につき 2 時間程度の拘束時間が生じますが、いつでも中断、中止することができます。
- ⑦ 研究に参加し、話し合うことでの心理的なご負担が最小限になるよう十分に配慮いたします。
- ⑧ 研究参加者の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料の書面を、下記メールアドレスに連絡することにより入手または閲覧することができます。
- ⑨ 研究参加者等及びその関係者は、下記メールアドレスに連絡することにより本研究に関する相談等を研究者に行うことができます。
- ⑩ 研究終了5年後には一切のデータを復元不可能な状態に消去し、紙面に記載したものはシュレッダーによる断裁などの方法で処分します。
- ⑪ 本調査結果につきましては、研究者の論文執筆および専門誌投稿、学会発表を行う予定です。
- ⑫ 調査結果は、本研究以外の目的では使用いたしません。
- ⑬ 本研究は、聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施します。
(聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号:XX-XXX)

なお、本研究は三菱財団社会福祉事業・研究助成金「放射線被害に取り組む福島県の行政機関等のスタッフに関する長期的サポートプログラムの作成」(研究代表者 萱間真美)を得て実施されます。

以上の内容につきましてご理解いただき、研究にご協力いただけますようお願い申し上げます。

研究責任者:大橋明子

所属:聖路加国際大学大学院 博士後期課程

住所:東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

E-mail:a-ohashi@slcn.ac.jp

Tel:03-3543-6391(大学代表)

指導教員:聖路加国際大学大学院 研究科長・精神看護学教授 萱間真美

聖路加国際大学
学長 福井 次矢 殿

研究への参加・協力の同意書

私は「東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化－アクションリサーチを用いて－」の研究協力を行うにあたり、研究者から説明文書を用いて説明を受け、これを十分理解しましたので、この研究に参加、協力することに同意いたします。

日付： 年 月 日

研究参加者氏名(ご署名): _____

同意確認者氏名(署名): _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号:XX-XXX

聖路加国際大学
学長 福井 次矢 殿

研究参加・協力の同意撤回書

私は「東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化－アクションリサーチを用いて－」の研究参加・協力について同意をしましたが、この参加・協力を中止することにしましたので、通知します。

本日までに得られたデータについては

- ☐ 研究に使用することを許可します。
- ☐ 研究に使用しないでください。

日付： 年 月 日

氏名(ご署名) _____

同意撤回の意思を確認いたしました。

日付： 年 月 日

研究者氏名(署名) _____